

Awaji Press

Vol. 2



写真：産経新聞

Make evolution!

～我々の進化が まちを進化させる～



2010年4月14日発行

行所 社団法人淡路青年会議所 洲本市下加茂 1-1-86 (辰岡ビル 2F)
TEL:0799-22-6611 FAX:0799-22-6626
E-mail:info@awaji-jc.or.jp URL http://www.awaji-jc.or.jp

事業報告

1/23 京都会議LOMナイト

社団法人日本青年会議所主催による京都会議が開催され、日本国中よりJCメンバーが集まり様々な会議やセミナーが執り行われました。そして社団法人淡路青年会議所からの出向者を激励するためにLOMナイトが開催され、多くのメンバーが参加いたしました。



2/7 第1回合同委員長会議LOMナイト

神戸はオリエンタルホテルにて兵庫ブロック協議会による第1回合同委員長会議が開催されました。社団法人淡路青年会議所から兵庫ブロックへ出向している多くのメンバーを激励するためにLOMナイトが開催され、淡路の地より多くのメンバーが駆けつけました。



2/10 2月例会～淡路JCの決断 vol.1～

本年度は社団法人淡路青年会議所が公益社団法人か一般社団法人のいずれかを選択しなければなりません。選択するためにはこの制度をよく理解しておく必要があり、制度の説明から定款から見た、選択後の組織の変化などの説明がなされました。



2/16 公式訪問

淡路島観光ホテルにて兵庫ブロック協議会の役員団を向かえ、兵庫ブロックの今年の方針を伺い、そして社団法人淡路青年会議所の今年の方針や委員会の役割を説明する公式訪問が開催されました。



2/18 飛躍する会

昨年度ご卒業されました中川浩明先輩と金崎浩一先輩を迎え、45年会主催による飛躍する会が開催されました。当日はメンバーはもちろんのこと、多くのOBの先輩方も起こしになり、メンバーによる獅子舞などを披露してお二人の初老をお祝いいたしました。



3/10 3月例会～新たな未来へ導くために～

淡路島観光ホテルにて3月例会～新たな未来へ導くために～が開催され、メンバーのリーダータイプやその資質を発見し、さらなるリーダーシップ向上を図られました。また当日は入会候補者も招き、社団法人淡路青年会議所の魅力と活動目的を伝え、友情の輪が広がりました。



3/23 兵庫県JC議員懇話会

兵庫ブロック協議会主催によるJC議員懇話会が神戸の地にて開催されました。兵庫県中よりお集まりいただきましたJC出身の県議会議員の皆様と、現役メンバーが活発な意見交換が行われ、明るい豊かなまちづくりについて話し合われました。



3/24 島民討議会VOICE OF AWAJI 2010

我々が提案し、淡路三市と共同で開催する島民討議会について、門淡路市長、竹内洲本市長、中田南あわじ市長、長棟淡路県民局長をお招きして開催に関する調印式が盛大に執り行われました。当日は記者発表も併せて執り行われました。



例会告知

5月例会 日時：2010年5月12日18:30～21:00
場所：洲本市文化体育館
6月例会 日時：2010年6月9日18:30～21:00
場所：洲本市文化体育館

編集後記

Awaji JC Press vol.2はいかがでしたでしょうか？今回は2010年度の社会開発事業であります島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010～あなたの声が淡路島を変える～(仮称)を特集に取上げました。この事業は明るい豊かな淡路島の実現に向けて今まさに必要な事業であり、その目的は地域の事は市民が自ら考え、積極的な政治への参画を目指しています。

社団法人淡路青年会議所は自身の発展のために運営されるべき団体ではなく、目的は明るい豊かな淡路島づくりのために存在し、活動しています。プレス編集を担当するにあたり、我々の活動意義の原点を見つめなおし、そして活動内容を正確な形で皆様に伝えるために、事業を通じて広報紙を編集いたしました。

次号発効日は6月9日(水)、青少年育成事業をスポットにあてて特集を組みたいと考えています。次号のAwaji JC Pressも宜しくお願いたします。

第48代 理事長 雑感

社団法人
淡路青年会議所
理事長
後藤 英 範



人間は体が資本とよく言われますが、全くその通りであります。今まで普通に生活し、体にも何ら変調が見られなかった人が、ある時突然に意識を失い帰らぬ人になってしまう。読売ジャイアンツの野手・走塁コーチである木村拓哉さんがそうでありました。

自分は大丈夫、お酒も飲まないし煙草も吸わない、早寝早起きに3度の食事、規則正しい生活は間違いなく長寿の秘訣であることは間違いありません。しかし、人は生き物であるが故、いつどのような自体を招くかは予測不能であります。明日の自分などは明日にならねば分かるはずもない訳であります。ならば、今自分たちができることを精一杯やろうではありませんか。皆様の企業活動はもちろんのこと、JC活動にも費やす今この時間を貴重だと考え行動いただければ幸いです。

本年もワールドカップを始め、様々な催しが行われますが、2010年度もそれらに負けない盛り上がりを見せる気概で頑張っていきたいと思います。

産経新聞にて『今できること』

～淡路JCメンバーの提案～が掲載されています！～

2009年度、社団法人淡路青年会議所では『未来創造会議』と題して淡路島内で活動する青年団体をお招きし、明るい豊かな淡路島の実現のための会議が行われ、その中で島民に「今できることから始めませんか？」とのメッセージを発信し、島民全体が淡路島のために自分ができることをしようと促しました。

産経新聞ではこのメッセージに対する企画がなされ、社団法人淡路青年会議所のメンバー個人がどのような「今できること」を実践して行っているのかを伝え、個人の目線からの活動でも淡路島をよくできることを伝えてほしいとの打診があり、お受けしております。

昨年度12月より始まり、本年度12月まで毎月第2火曜日にJCメンバーの記事が掲載されます。過去の掲載記事は淡路JCホームページにて閲覧できますので、そちらも併せてご覧下さい！

2009年12月掲載



才理事長(当時役職)

2010年1月掲載



後藤理事長

2010年2月掲載



畑野専務理事

2010年3月掲載



前川監事

島民討議会

『島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010』
～あなたの声が淡路島を変える～(仮称)

2006年12月、小泉政権において国と地方との役割分担の見直しと、補助金の廃止や縮小を図る目的で、地方分権改革推進法が成立しました。その趣旨は、地域の自主性及び自立性を高めることによって、地方自治体が自らの判断と責任において行政運営を促すというものであり、地方分権推進による「道州制」の導入も協議されている最中、地方に権限と財源が委譲されるとともに、地域住民が自らの地域のことを考え責任を持ち、そして自らの手で治めていくという時代によりいっそう傾倒していき、地域に適した自治手法の構築が求められています。

しかし、いまだ住民の世間に対する批判・評論体質が根強く、自らが率先してまちづくりを行うという意識の欠如が往々にしており、また一般住民がまちづくりに対し、責任ある立場として参画する機会が無いという問題もあります。

本年度、社団法人淡路青年会議所は、行政に声を届けることのできなかった住民に対し、具体的なまちづくり等のテーマについて話し合う新しい住民参加型の会議『島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010～あなたの声が淡路島を変える～(仮称)』を開催いたします。住民がまちづくりの当事者となり、行政とともに今そこにある問題を自らの問題として捉え、解決に向け真剣に取り組む機会となります。

住民が地域に対して、自らができることを自らの意思で考え、そして一人ひとりが地域の担い手であることを知る体験は、活力ある変革への原動力となり、誰もが認める「明るい豊かな淡路島」に向けた大きな第一歩となることでしよう！

理念

自他共に認める
明るい豊かな淡路島の構築

背景：国と地方との
役割分担の見直し
目的：地域の自主性及び
自立性の確立
手段：住民主導型自治の
仕組みへの転換

島民討議会の開催

討議会参加促進による
島民意識の向上

無作為抽出により約2000名に対し討議会の参加依頼を行ない、これからの地域住民のあり方を発信し意識向上を行います。

討議会参加者の意識向上

今まで声をあげることのできなかった(しなかった)一般住民に対し、責任ある仕事として自らの考えをグループディスカッションにて発言いただき、その発言を報告書に記載し、行政に届けることにより、自らまちづくりを考え行動することの大切さを知っていただきます。

一体的発信による
島民全体への意識向上

上記の一体的発信をマスコミを通じ行なうことにより、淡路島全体に対する意識向上を行ないます。

↓
時代に合った新しい手法、
そして仕組みの提案

住民の意識変革を行うには、時代背景に応じた地域を豊かな循環へと導く仕組みづくりを行なう必要があります。それを継続させるとともに発展させ続けることが、実質的な地域活性化への近道となります。

島民討議会とは？

無作為に抽出され選ばれた市民が集まり、具体的なまちづくり等のテーマについて話し合う新しい市民参加型の会議です。これまで行政に声を届ける機会が無かった一般市民の方に参加を呼びかけ、話し合いを行い出された意見を報告書として行政に届け、今後のまちづくりに反映させていく手法で、1970年代よりドイツで行なわれている住民自治の手法「プラーヌクンツェレ」を日本風にアレンジされたもので、青年会議所と行政等が共催する形式が一般的であります。



開会前にて



島民討議会の記者発表

住民主導のまちづくりへ



淡路三市との調印式



閉会後の記者からの質問

住民による 責任ある地域づくり



後藤理事長



竹内洲本市長



中田南あわじ市長



門淡路市長



長棟淡路県民局長



会場の様子



趣旨説明をする原田委員長

住民の声 政治へ届く社会へ

社会開発委員会 委員長 原田 啓行 生年月日：昭和50年10月21日(満35歳)
勤務先：関西ハウス工業(株) 専務取締役

委員長から一言

島民が責任をもって地域づくりに参画できる淡路島にするため、島民討議会に成功させなければなりません！皆様のご協力をどうぞ宜しくお願いします！
島民討議会を開催するにあたり、専用ホームページを開発いたしました。「島民討議会」と検索してください。詳しくはWEBで！

組織関連図

『島民討議会 VOICE OF AWAJI 2010』
～あなたの声が淡路島を変える～(仮称)

↑ 決議

実行委員会

構成：淡路島3市からの出向者、県民局出向者、
公募島民、JC出向者
役割：議案の検討・決議

提案 ↑ ↓ 検討

企画室

構成：淡路JCメンバー
役割：実行委員会への提案、資料の作成、
事務局業務、設営等

実行委員会スケジュール及び開催内容

第1回実行委員会

日時：2010年4月22日(木) 18:30～21:00
内容：実行委員会規約の件、実施組織の件、
事業名称の件、事業予算の件、全体
スケジュールの件

第2回実行委員会

日時：2010年5月14日(金) 18:30～21:00
内容：ホームページ作成の件、無作為抽出
実施方法の件、討議会参加人数の件、
討議会会場の件

第3回実行委員会

日時：2010年5月28日(金)
内容：議題(テーマ案)の件、情報提供者
の件、PR戦略の件

第4回実行委員会

日時：2010年6月11日(金)
内容：プログラムの件、会場レイアウトの件、
会場運営の件

第5回実行委員会

日時：2010年6月25日(金)
内容：補助係り打合せ、参加者へのフォロー、
プレディスカッション

第6回実行委員会

日時：2010年7月9日(金)
内容：備品等準備物の確認、運営イメージ
の整理、グループ分け等

第7回実行委員会

日時：2010年7月16日(金)
内容：リハーサル等

第8回実行委員会

日時：2010年8月13日(金)
内容：お礼状発送状況、中間報告会

第9回実行委員会

日時：2010年9月10日(金)
内容：報告書提出、マスコミへの提言発表について ※必要に応じ臨時実行委員会を行なう。